

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65%	自校A B層の割合	50%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年では、教科担任制による授業を年間を通して行い教材研究が十分に行う。低中学年では、年に3回以上、単元での授業交換を行い、児童理解の向上に努める。 ・各教科で、探求的な学びの学習過程を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方、発表の仕方、ノート書き方などの学習規律（西小松川小学習のやくそく、ノートの書き方、タブレットの約束）を全校で整える。 ・対話、3～4人でのグループ学習を授業の中で取り入れる。 ・課題終了後等、日々、ミライシードを活用する。 ・江戸川っ子スタディウイークでは、前年度以前の復習を必ず行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゲームやSNS、動画視聴に関する時間」を家庭で決め、学習習慣が定着するようにする。 ・3年生以上で自主学習の方法を提示し、自主的に学習が進められるように継続して指導する。 ・ミライシードの日を設定することで習慣づけ、宿題として取り組ませることで家庭でも児童が学習しやすいようにする。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラによる拡大提示を行う。 ・視覚、聴覚、両面からの情報伝達を行う。 ・デジタル教科書を活用した音読。 ・デジタルドリルでの漢字指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「放課後算数補習教室」を活用して算数の基本的な力を養う。 ・ミライシードを活用し、苦手箇所の洗い出しと繰り返し学習を行わせ、児童一人一人の能力に合わせた学習課題を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の内容を具体的に指示をしたり、個人の能力に合わせた学習量にしたりすることで、無理なく自主的に継続していけるようにする。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現等の板書カードを掲示した授業を1日1回以上実施する。 ・学期1回は教員による授業の相互観察を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京ベーシックドリル・算数」での1回目の合格率を80%以上にする。 ・「東京ベーシックドリル・国語」での1回目の合格率を90%以上とする。 ・学習規律アンケート（児童9の肯定的な回答を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学年×10+10分」以上の家庭学習の習慣を80%の児童が身に付くようにする。 ・ミライシードの進捗状況を月ごとに調べて、理解度をシコウリョクを活用して調べる。 ・児童アンケートで家庭学習時間・端末利用状況を調査する。